

東京都議会議員選挙(目黒区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

PROFILE

▷1995年生まれ。25才。▷2016年、高校新聞編集長として都教委の「強制ボランティア」問題、生徒会会則非公開問題を追及し、検閲を受ける。▷2017年東京都立新宿山吹高校卒▷2019年ニュースサイト「インタースクールジャーナル」を創刊し、生徒の立場から教育問題を報じる。2019年8月27日の会見で柴山文科相(当時)の「ヤジは権利として保障されない」発言を引き出し、大学入試改革崩壊の引き金を引いた。▷2019年～20年学生団体トップとして都立高校での寒い中でのプールのやめさせるよう都教育委員会に要請し、再発防止を約束させた。

子どもの命・自由・人権を守る

「当たり屋」副校長を免職に 生徒の「表現の自由」守る

昨年7月、目黒区立第九中学校副校長が、寒い中でのプールの授業を批判するチラシを配っていただけの高校生を追いかけまわした末、私人逮捕する事件がありました。授業改善を訴える高校生の意見表明権を奪うような副校長を教育現場に置き続けるわけにはいきません。都教委に副校長の懲戒免職を要求します。

ブラック校則を即刻廃止 人権侵害やめさせる

下着の色を白色に指定するとか、地毛が茶髪でも黒染めを強要するとか、子どもの人権を踏みにじるブラック校則・指導の問題が明らかになっています。私は学校で困っている生徒の声を聞いて、個別の学校の問題にも取り組み、子どもの自由と人権を取り戻します。

◎大人の権利より子どもの日常を オリンピックは絶対中止！

◎都教委の子ども動員体質にNO！ 子どもの命が最優先！

◎登校選択制の実現！オンライン双方向授業配信で学びの保障を

◎飲食店いじめより根本的なコロナ対策と手厚い補償の実現

◎都民1人1人の声を都政にぶつけ、記者の視点で徹底追及！



無所属
平松 けんじ
25 才

人と人が
安心して
ふれ合える
暮らしを

ワクチン接種 秋までに 目黒区の希望者全員へ

家族や友人と食事に出かける、帰省して祖父母や孫と会う、コンサートや、映画・カラオケなどを楽しむ等、私達の日常生活の楽しみを一日も早く取り戻すため、ワクチン接種を加速させコロナ禍を克服し、経済再生に全力を尽くします。

ワクチン実績ナンバー1

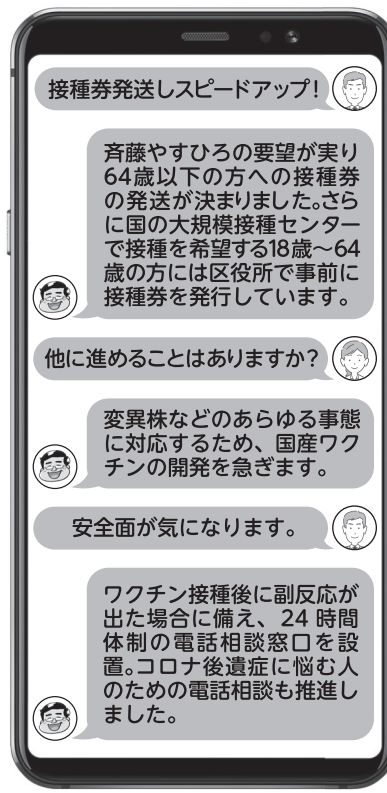
- ◆ 区政とのネットワークで接種会場を大幅に拡大
- ◆ 移動困難な要介護認定の高齢者らにタクシー代支給
- ◆ 東京23区で最も早いコールセンターを開設
- ◆ LINEを活用し予約の最新情報が届く仕組みを構築
- ◆ 区有施設で接種後 その場で2回目の予約を可能に



これも実現！

- ◆ 30%のプレミアム付き商品券 今年も発行
- ◆ 特別定額給付金 対象外の赤ちゃんに10万円商品券
- ◆ 民有地を活用し保育所が倍増 待機児童ゼロ達成
- ◆ 議員報酬20%削減「身を切る改革」今年度も断行

[Profile] 目黒区立第九中学校、明治大学付属中野高校、慶應義塾大学卒。元国土交通大臣秘書官、都議会党SDGs推進委員会事務局長。都議3期。



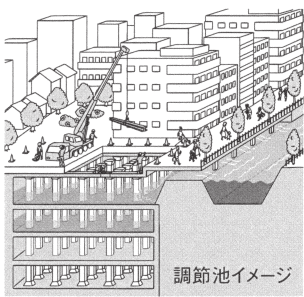
◀ 斉藤やすひる 実績動画はこちらの画像から



さいとう
斉藤 やすひる
公明党公認

第1位
予算委員会
質問回数

第1位
議員提案条例
実現回数



私たちも応援します

小池百合子

目黒区医師会・会長
花谷 勇治

早稲田大学マニフェスト研究所
北川 正恭 名誉教授



略歴 1976年生まれ。成蹊高校、早稲田大学卒。国会議員秘書、目黒区議を経て、28歳で東京都議会議員選挙に当選。地方議員政策コンテスト「マニフェスト大賞」を創設。新型コロナウイルス対策特別委員長、議会改革検討委員長などを歴任。テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」などテレビ出演のほか、タリフジ連載「側近が語る小池知事」など執筆多数。区議1期、都議3期。家族：妻、子ども2人。



小池知事に 進言できる議員

目黒の安心
未来の約束

- ① 目黒川・呑川の豪雨対策に調節池
- ② 林試の森公園に災害拠点カフェ
- ③ 全ての避難所に非常用電源の設置
- ④ ウーバー配達員バック番号表示
- ⑤ 塾代支援で子どもの教育格差解消
- ⑥ 公立学校内で受験対策できる教室

コロナ対策
提案と実現

- ① 飲食店・関連産業への支援強化
- ② 東京版ニューディールで雇用創出
- ③ 保健師確保で保健所機能の強化へ
- ④ ワクチン集団接種会場の提供
- ⑤ 変異株対策の入国禁止措置
- ⑥ 都立病院のコロナ重点拠点化

改革の成果
3つの実現

- ① コロナ対策条例など
- ② 4本の議員提案条例
- ③ 議員報酬2割カット継続
- ④ 外郭団体168億円
- ⑤ 都への返還を実現
- ⑥ 都立病院のコロナ重点拠点化

現職3期



都民ファーストの会公認
伊藤 ゆう
44 歳

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

実直、公正、西崎 翔。
プロフィール

1983年(昭和58年)11月、3人兄弟の長男として生まれる。円融寺幼稚園、向原小学校、目黒九中、都立青山高校、東京外国語大学英語科卒業。目黒雅叙園勤務、衆議院議員手塚仁雄秘書、参議院議員蓮舫秘書を経て、目黒区議会議員2期。家族は妻、3男児(6・3・1歳)、保護猫2匹。

感染拡大の懸念を
払しょくできない今こそ、
**東京五輪は
延期か中止に!**
コロナ対策に予算と人材の集中を。

汚職・裏金・買収まみれの
自民党政権を変えるため、
あなたと一緒に闘います。



選挙カー

企業献金

私のめざす東京

- 子どもの権利条約に基づく子育て・子育て支援
 - 持続可能性を前提としたまちづくり
 - SOSを出せない人に届く福祉
 - ジェンダー平等、多様性を誇りと魅力に
 - コロナ対策に全力を
- 正確なワクチン情報、迅速・安心な接種
積極的なPCR検査で、感染を断ち切る

劇場型政治に終止符を!

立憲民主党 副代表
ながつま昭
立憲民主党 幹事長代理
手塚よしお



立憲民主党
西崎 つばさ
37 歳

(この選挙公報は、東京都議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例(昭和38年東京都条例第3号)第4条第1項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま製版の上掲載したものです。)

投票日 7月4日(日) 午前7時から午後8時まで

期日前投票期間 6月26日(土)～7月3日(土) 午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特例郵便等投票が利用できます

投票用紙の請求期限 6月30日(水) 午後5時まで

投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページで

ご確認いただくか、お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内：<https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>

(定数 3 人)

特例郵便等投票のご案内：<https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>